

令和8年3月6日（金） 午前9時30分～@佐渡市議会

◎佐渡ヶ島（SDGs）集落ツーリズム構想の実現に向けて
【しごとづくり】【ひとづくり】【まちづくり】の計画に関する確認と提案

- (1) 人口減少社会への挑戦と人材育成について
 - ① 関係人口・二地域居住促進の具体策と定住率向上策
 - ② 佐渡版未来創造塾の創設と次世代リーダー育成
 - ③ 佐渡島まるごと博物館構想の推進
 - ④ 地域電力会社の設立による森林利活用、木質バイオマス発電の推進
- (2) 健康寿命日本一を目指すウエルビーイング政策について
 - ① 佐渡総合病院への持続的支援体制とオンラインも活用した医療人材確保
 - ② 放射線治療に係る交通・宿泊費補助制度の改善策
 - ③ 野菜摂取と減塩推進「カラダにやさしお運動」と大根菜等の地場野菜活用による健康増進モデル
 - ④ マインドフルネス導入による心身の健康政策
- (3) 世界遺産登録後の文化観光インフラの高度化について
 - ① サイクルツーリズムと世界遺産・温泉・食の連携モデル構築
 - ② 全島ブルーライン化によるナショナルサイクルルート認定への戦略
 - ③ 加茂湖周辺サイクリングロード整備の進捗と将来構想
 - ④ 足湯整備、温泉消雪パイプ導入等による温泉資源の多角的利活用



http://hiroshimurooka.com/documentandscript_202603

【二次元コード（ごま塩のような正方形）の読み取り方】

- ① スマートフォン・タブレットのカメラか二次元コード読み取り機能を立ち上げる。
- ② 表示されたアドレス（<http://>.....）等の文字列を触ってみる。

令和8年3月定例会 一般質問資料

三度のメシより佐渡が好き！！！！ 政風会 室岡啓史

※【出典】の記載なき画像は自身で撮影した写真かAI（Google Gemini）で生成した画像です。

≡ 本日の質問テーマ（二次質問） ◎佐渡ヶ島（SDGs）集落ツーリズム構想の実現に向けて



総務文教常任委員会分野

(1) 人口減少社会への挑戦と人材育成

- ① 関係人口・二地域居住促進の具体策と定住率向上策
- ② 佐渡版未来創造塾の創設と次世代リーダー育成
- ③ 佐渡島まるごと博物館構想の推進
- ④ 地域電力会社の設立による森林利活用、木質バイオマス発電の推進



市民厚生常任委員会分野

(2) 健康寿命日本一を目指すウエルビーイング政策

- ① 佐渡総合病院への持続的支援体制とオンラインも活用した医療人材確保
- ② 放射線治療に係る交通・宿泊費補助制度の改善策
- ③ 野菜摂取と減塩推進「カラダにやさしお運動」と地場野菜活用
- ④ マインドフルネス導入による心身の健康政策



産業建設常任委員会分野

(3) 世界遺産登録後の文化観光インフラの高度化

- ① サイクルツーリズムと世界遺産・温泉・食の連携モデル構築
- ② 全島ブルーライン化によるナショナルサイクルルート認定への戦略
- ③ 加茂湖周辺サイクリングロード整備の進捗と将来構想
- ④ 足湯整備、温泉消雪パイプ導入等による温泉資源の多角的利活用

【出典】A I ジェンスパークより生成 <https://www.genspark.ai/>

(1) ① 関係人口・二地域居住促進の具体策と定住率向上策

二次質問の骨子・問いかけ

🎯 KPI（重要業績評価指標）は？

目標：二地域居住者「200人」

📅 「島民カード」「第二住民票」の導入時期はいつか？

🏠 妙高市・湯沢町等と連携した「季節移住」の進捗は？



具体的な推進施策・リソース



国交省プロジェクト
二地域居住先導的事業の活用



プラットフォーム活用
コンバス/トキコネクト/
マッチボックス



空き家の活用
平成元年以降の物件「81軒」



コミュニティ支援
移住者が馴染める環境づくり



関係人口



二地域居住



定住



地域活性化

【出典】A | ジェンスパークより生成 <https://www.genspark.ai/>

総務文教

(1) ② 佐渡版未来創造塾の創設と次世代リーダー育成

二次質問の骨子

創設の意向は？

ネットワーク進捗は？

人と人のつながり強化！

モデル比較：八代市「やつしろ未来創造塾」

テーマ設定	空き家／交通／子育て／観光／一次産業 (地域課題をビジネスの種に)
支援体制	✔ 事業化・起業化まで徹底伴走
ゴール	✔ 補助金終了後も「自走」できる人材
特徴	🔄 デジタル × アナログの融合



育成のサイクル



さどのもん

+

たびのもん

=

オール佐渡



【出典】A | ジェンスパークより生成 <https://www.genspark.ai/>

▼佐渡島まるごと博物館構想へ

総務文教

(1) ③ 佐渡島まるごと博物館構想の推進



二次質問の骨子

- 文化資源のネットワーク化は？
- 「佐渡認定プロガイド制度」創設？

- AR・VRによる「見える化」は？
- 司令塔部署と今後の工程は？



奈良県明日香村視察の学び
「文化資源の見える化」と「ガイドの質担保」が観光の質を高める鍵！

屋根のない博物館
金山・能舞台・集落を面的な展示空間へ

AR・VRで見える化
往時の姿をデジタルで再現し体験価値向上

佐渡認定プロガイド制度
「稼げるガイド」育成と質の保証

【出典】A I ジェンスパークより生成 <https://www.genspark.ai/>

市民厚生

(2) ① 佐渡総合病院への持続的支援体制と医療人材確保

二次質問の骨子・問いかけ

¥ 令和8年度以降の支援額・財源の考え方は？
(上限設定・継続年数・企業版ふるさと納税の活用)

🏰 県・市・厚生連による常設「司令塔」の設計と財源確保への市長の覚悟は？



持続可能な支援のための連携体制



経営課題と重要数値

令和7年度支援実績
1.2 億円

電子カルテ更新費
9~10 億円

放射線治療：損益分岐点
年間 200人

放射線治療：コスト負担
維持費 2,700万円 / 機器 5億円

人材確保の切り札「種子島モデル」

看護学校の「サテライト教室化」により、島内で学び、島内で働く人材を育成！導入可能性を問う。

【出典】A | ジェンスパークより生成 <https://www.genspark.ai/>

(2) ② 放射線治療に係る交通・宿泊費補助制度の改善策

二次質問の骨子 対象者数と「現役世代」比率は？ 制度の持続可能性は？ 見直しのスケジュールは？

△ 現状と課題：制度利用の低迷

放射線治療「完全廃止」
令和8年4月より島内での治療不可

補助申請実績の乖離
想定40人 → 実績わずか5人

島外通院の負担増大
交通費・宿泊費が家計を圧迫



🔍 利用低迷の原因分析

制度の周知不足

申請のハードル

経済的負担感

仕事との両立困難

✂️ 制度改善に向けた3本柱

1 所得要件の整理

2 上限額の設定

3 支給方法の明確化

【出典】A I ジェンスパークより生成 <https://www.genspark.ai/>

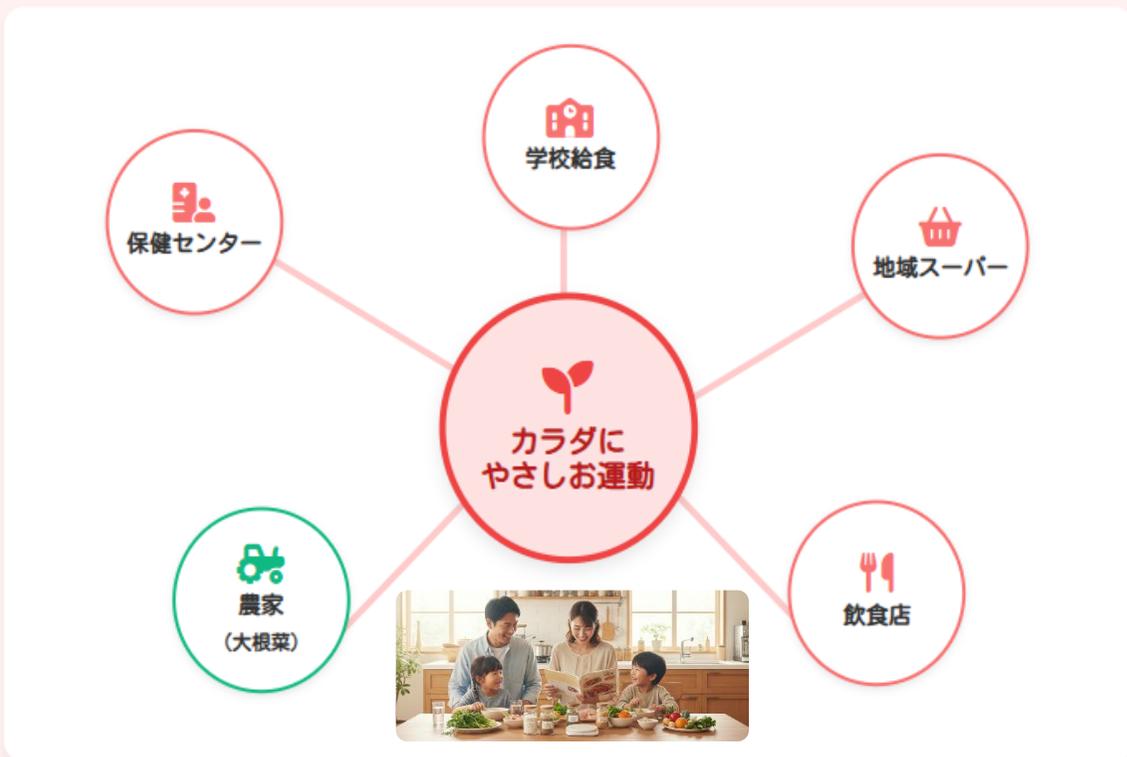
▼カラダにやさしお・大根菜最強説



市民厚生

(2) ③ 「カラダにやさしお運動」と地場野菜活用による健康増進モデル

- 🍷 大根菜を「主産物」として活用！「身土不二」推進の考えは？
- ❓ 二次質問の骨子 🏠 「健幸さど21（第3次計画）」の主要KPIは？
- 👥 学校・地域・飲食店を巻き込む事業実施体制は？



🌱 身土不二 (しんどふじ)

その土地で採れたもの、旬のものを食べるのが体に良いという考え方。

🍷 大根菜の活用

冬の貴重な葉物野菜。「副産物」から「主産物」への意識転換で健康増進！

🌱 野菜摂取向上

🍷 減塩推進

👥 地産地消・フレイル予防

【出典】A | ジェンスパークより生成 <https://www.genspark.ai/>

市民厚生

(2) ④ マインドフルネス導入による心身の健康政策

マインドフルネスとは・・・
「今、この瞬間」に意識を向け、
評価せずありのままを受け入れる
心の筋トレのこと。
集中力向上や休息に有効です。

二次質問の骨子 市民講座・学校・職員研修での段階的導入は可能か？ 担当部局の検討状況は？

段階的導入ロードマップ案

1 職員研修への試験導入

2 学校（子ども向け）展開

3 市民向け健康講座

4 佐渡全島マインドフルネスの聖地へ

5つの導入施策

パイロット導入（学校・職員・高齢者教室）

短時間プログラム（1日5分からの実践）

効果測定（睡眠・ストレス値の計測）

指導者養成（地域人材の育成・活用）

コスト対効果（医療費適正化への寄与）

なぜ佐渡×マインドフルネス？

- 豊かな自然環境との高い親和性
- 静謐な島の風景が瞑想に最適
- ストレス軽減・認知症予防・創造性向上

“直感を信じなさい。マインドフルネス（座禅）は集中力と創造性を高める。

- スティーブ・ジョブズ



すべての人に健康と福祉を

【出典】A | ジェンスパークより生成 <https://www.genspark.ai/>

産業建設

(3) ① サイクルツーリズムと世界遺産・温泉・食の連携モデル構築

🗺️ 令和8年度中に「連携モデルコース」を造成できないか？

❓ 二次質問の骨子 🗺️ 事業主体（市／観光団体／民間）の明確化を！

📈 KPI（滞在日数・消費額）の設定を！



- 1 安全基準のクリア**
車道混在時の視認性向上と危険箇所への矢羽根型路面表示
- 2 案内サインの統一**
距離標示、方向案内、注意喚起看板の多言語化とピクトグラム化
- 3 補給・修理拠点の配置**
サイクルステーション（AS）の20km圏内整備と工具貸出
- 4 段階的整備計画**
観光主要ルート（両津～相川等）を優先区間とし全島へ波及
- 5 ナショナルサイクルルート**
「サドイチ」ブランドの確立とインバウンド誘客の起爆剤

🗺️ 観光シーズンの平準化
冬季以外のシーズンを通じた集客で、
年間を通じた安定的な観光需要を創出！

【出典】A | ジェンスパークより生成 <https://www.genspark.ai/>

産業建設

(3) ② 全島ブルーライン化によるナショナルサイクルルート認定への戦略

二次質問の骨子 ➤ まずは実証実験から！実施範囲・概算コスト・優先順位は？ 国・新潟県との調整状況は？

認定への戦略ロードマップ



- 📍 テーマ別周遊 (金山・能・里山ルート)
- ♨️ 温泉・足湯で疲労回復 (リカバリー)
- 🍴 地産食連携 (補給食×ガストロノミー)
- 🚲 手ぶら観光 (荷物配送・E-bikeレンタル)
- 📶 SNS発信導線 (映えスポット整備)

📍 先行事例：ピワイチ (琵琶湖)

「ブルーラインがサイクリストに安心感を与え、地域が自転車を歓迎しているメッセージに！」

- #### 📋 実証実験の検討項目
- 📍 実施範囲 (エリア選定)
 - 💰 概算コストの算出
 - 🔲 整備の優先順位付け
 - 🇯🇵 国・県との調整状況



【出典】A | ジェンスパークより生成 <https://www.genspark.ai/>

🚲 産業建設 (3) ③ 加茂湖周辺サイクリングロード整備の進捗と将来構想

- 📌 所管の整理と整備の進捗は？
- ❓ 二次質問の骨子 📌 将来の回遊動線（両津港・市街地・アクティビティ）の構想は？
- 🕒 船待ち時間を有効活用する観光の「伸びしろ」の具体的工程は？



📍 整備による「伸びしろ」創出

- 🕒 船待ち数時間を観光体験に変換！
- 🦉 朱鷺（トキ）が舞う絶景サイクリング
- 🌊 汽水湖の自然体験、アクティビティ

📅 令和8年度以降の整備スケジュール

加茂湖利活用推進会議等でも議論を活性化し、佐渡のサイクルツーリズムを推進するべきではないか！？

産業建設

(3) ④ 足湯整備、温泉消雪パイプ導入等による温泉資源の多角的利活用

二次質問の骨子

- 足湯整備の候補地・運用主体・維持費の考え方は？
- 温泉消雪パイプ：まずは実証実験から始めてはどうか？



淡路島や月岡温泉の足湯



- 認知症予防・リフレッシュ**
足湯による血行促進と脳の活性化
- 地域交流・集いの場**
住民と観光客が交流する温かい空間
- 観光客の滞在時間延長**
「もう一箇所」の立ち寄りスポットへ
- 除雪費削減・トラブル防止**
温泉消雪パイプで冬の道路課題を解決

【出典】A | ジェンスパークより生成 <https://www.genspark.ai/>

▼【提案①】 佐渡版未来創造塾の設立



◆企画提案：佐渡版・未来創造塾（仮称：佐渡未来創造アカデミー）

1. 目的

有人国境離島法等の補助金に依存せず、佐渡の地域課題（物流、医療、空き家、観光活用等）をビジネスの力で解決し、持続可能な島づくりを担う「自走型起業家（ゼブラ起業家）」を育成する。

2. プログラムの柱

マインドセット変革：「競争」から「共創」へ。地域経済循環の仕組みを理解し、自分の商売がどう地域を救うかを言語化する。

CSVプロジェクトの構築：本業の強みを活かし、佐渡の困りごと（例：高齢者の買い物代行、空き家のDIY賃貸、伝統芸能の体験観光化）を収益事業に繋げる。

広域・多世代連携：塾生同士のコラボレーション（例：タクシー会社×農家による貨客混載）を促進する。

3. 佐渡独自の工夫

「金の道」ツーリズムの活用：金の道フォーラムで得た知見を活かし、デジタルスタンプラリーや街道アプリの開発を塾生のプロジェクトとして社会実装する。

若者参画枠の設置：佐渡内の高校生・大学生を対象とした「ジュニア・フェロー」枠を設け、大人の起業家と共に活動することで「地方創生はカッコいい」を体感してもらう。

雇用機会拡充事業との連動：有人国境離島法雇用機会拡充事業の採択者に対し、本塾への参加を推奨（あるいは要件化）し、補助金終了後の自立率を向上させる。

4. 運営体制（案）

期間：年間6回～10回の連続講座（全出席を原則とする）。

費用：受講料を設定し、参加者の「本気度」を担保する。

予算：年間120万～150万円程度（講師謝金・交通費、会場費、伴走支援費）。

▼【提案②】佐渡まるごと博物館



◆企画提案：世界遺産を核とする「佐渡まるごと博物館」構想の推進

1. 「佐渡版・歴史的風土保存」の財政モデル検討

明日香村が「明日香法」により毎年約1.6億円の交付金を受けている事例を参考に、世界遺産周辺の景観保存と住民生活の利便性向上を両立させる、国への新たな財政支援（離島振興法、有人国境離島法等の更なる活用や新法の検討）を働きかける。

2. 「佐渡認定プロガイド」制度の創設

明日香村の「飛鳥認定通訳ガイド」にならい、歴史知識だけでなくホスピタリティやマーケティング視点を備えた「稼げるプロガイド」を育成・認定する。

◎ポイント：単なるボランティアではなく、プロとして高い対価を得られる仕組みづくりを支援する。

レクチャーではなく、エンターテインメントかつ五感を育み、生きる力を伸ばす意識を大切にする。

◎認定基準の策定：知識試験のみならず、ストーリーテリング、接遇、有償ガイドとしてのマーケティング能力を評価項目に加える。

◎収益モデルの構築：数万円単位のプレミアムガイドツアーを造成し、ガイドが自立した個人事業主として成立する仕組みを支援する。

◎多言語対応とデジタル活用：インバウンド需要を見据え、英語等の語学研修に加え、タブレット端末を用いた視覚的な解説手法の習得を義務付ける。

3. 古民家・歴史的建造物の「攻めの保存」

長谷工コーポレーションによる古民家ホテルの事例のように、登録有形文化財への登録と民間資本（ゼネコンや大手資本）を連携させ、滞在型観光の拠点を各地区に整備する。「相川まちづくりミュージアム構想」を全島へ。

4. 「デジタル×歴史」による資源の見える化

バーチャル飛鳥京の取り組みを参考に、佐渡金山のみならず、五重塔や寺社仏閣城郭跡、配流の歴史等をAR（拡張現実）の活用で再現し、遺構がない場所でも歴史ロマンを体感できる「デジタル歴史ツアー」を構築する。

5. 農業と観光の「美味しい」連携

「あすカルビー（イチゴ）」と飲食店が一体となったキャンペーンを参考に、佐渡の特産品（米、魚、野菜、果物、郷土食等）と世界遺産観光をセットにした「食のストーリー」を強化し、滞在型観光を推進する。

▼【提案③】 サドイチブルーラインを



【概要】

令和8年2月、滋賀県大津市の全国市町村国際文化研修所（JIAM）での研修受講に合わせ、琵琶湖周辺の地域資源活用状況を調査した。調査はレンタカーによる走行約366キロ（琵琶湖外周は約235キロ）に及び、歴史的建造物、道の駅、民間集客施設など、多岐にわたる拠点を五感で確認した。主な視察行程は以下の通り。

- ①世界遺産比叡山延暦寺：宗教文化の核心地における厳格な空間管理と観光動線の確認。
 - ②ラ・コリーナ近江八幡：自然と調和した建築美による民間主導の菓子製造工場&観光ブランディングの視察。
 - ③城郭建築群（安土城址・彦根城・長浜城）：歴史的ランドマークを核とした都市形成の概観。
 - ④黒壁スクエア：古い街並みをリノベーションした商業振興と回遊性創出の成功事例調査。
 - ⑤自然・交通インフラ：琵琶湖大橋やサイクリングロード「ピワイチ」のブルーラインの整備状況の確認。
- ◎広域連携の重要性：滋賀県全体の面積の6分の1を占める琵琶湖は、南北で気候（南部は晴天、北部は積雪・曇天）や文化が大きく異なる。これらを一つのアイデンティティ「琵琶湖」で繋ぐ広域観光戦略の有効性。
- ◎資源の多層化：世界遺産から現代建築、さらには「真水」という資源そのものの価値（飲用・農業・景観）を、いかに物語（ストーリー）化して発信するかという視点。
- ◎サイクリングロードの効果：「ピワイチ」のブルーライン整備が、単なる交通標識を超え、来訪者への安心感と地域への回遊動線を創出している実態。

【所感】

南北に長く、多様な気候や歴史的背景を抱える滋賀県4,017平方キロメートルの姿は、琵琶湖670平方キロメートルの広大な面積を有し、多様な伝統芸能や歴史遺産を抱える佐渡市との共通点が多いと感じた。特に以下の3点において、本市への示唆を得た。

- ◎「外の視点」による資源の再発見：外部人材やインフルエンサーとの連携で、日常的風景（湖面や雪景色等）を付加価値の高い観光資源へと昇華させる戦略が必要である。
- ◎歴史的街並みの現代的活用：黒壁スクエアのように、歴史を保存するだけでなく、現代の感性に訴える商空間として再構築する手腕は、宿根木&小木町の重要伝統的建造物群保存地区等の活性化にも極めて重要である。
- ◎環境と経済の両立：琵琶湖という巨大な水資源を守りつつ活用する姿勢は、世界遺産登録後の本市が目指す、持続可能な地域づくりの先行指標となると確信した。

今回のフィールドワークで得た「地域資源を繋ぐ力」と研修で得た理論を融合させ、今後の佐渡市の持続可能な伝統文化継承および地域経済活性化のための政策立案に反映させていく所存である。